

漁協女性部の手作り料理（8月3日）



昼食は、神湊漁協女性部のみなさんから、島の新鮮な食材を使った料理をいただくことができました。おにぎり、魚の揚げ物、フルーツなど。どの料理も本当に美味しく八丈島を感じるものばかりでした。目の前の料理を食べ終えた参加者は、とても満足そうでした。

スノーケリング2回目（8月3日）



昼食後は、底土海岸へ移動し、2回目のスノーケリング実習を行いました。この日の海も大変穏やかで綺麗でした。参加者が沖に出ても、海底まではっきり見えるほどの透明度でした。そこでは多くの魚、サンゴと出会うことができました。時間を忘れ、雄大な自然の姿に感動を与えてもらいました。

サバイバル踏破 1 日目（8 月 4 日）



5 日目。いよいよサバイバル踏破 1 日目をむかえました。夜も明け切らない時間から、各班の計画に沿って、すべての班が元気に BC を出発しました。天候は日中をとおして良く、暑い 1 日でした。しかし今年度は、暑さで具合の悪くなる参加者もなく、順調に歩みを進めていきました。途中、つらい場所も数多くあり、逃げ出したくなったり、仲間と上手くいけなくなったりした場面もありました。しかし、それらを班の力で乗り越え、VL を中心に全員で協力してビバーク地に到着することができました。

サバイバル踏破 2 日目（8 月 5 日）



6 日目。前日に引き続き、とても暑い 1 日になりました。2 日目ともなると、暑さと疲れで自分に負けてしまいそうになる時もあったようです。しかし、苦しいときもつらいときもお互いに声をかけ合って歩き続けました。なかには休憩中に出会った方から差し入れをいただいた班もありました。八丈の方々の大きな心遣いに勇気づけられるばかりでした。

サバイバル踏破達成（8月5日）



参加者は2日間の踏破をとおして、仲間の大切さや仲間と協力し合うことで大きな達成感を得られることを知りました。また八丈の方々の温かい心に触れることもできました。この感動は、生涯忘れることのない思い出となることでしょう。ゴールの瞬間、今まで我慢してきたつらさや頑張り切った自分に、そしていつも励まし続けてくれた仲間に、涙をこぼす参加者もいました。みんなでゴールしたい。みんなで成し遂げたい。そんな思いを持ちながら歩き続けたサバイバル踏破は、参加者たちの「感じる心」を大きく育む、価値ある2日間になりました。

苦渋の決断（8月5日）



サバイバル踏破到着後、参加者にとってもつらいことを伝えなければなりませんでした。それは台風13号の影響で、海洋道中を2日間短縮しなければならなくなったということです。そのため周囲が暗くなり始めても、BCの撤収作業をしなければなりませんでした。その日の夜、三根小学校の体育館で、あらためて団長から2日間の日程短縮が告げられました。参加者のなかには、涙を流して団長の話を聞く姿もありました。今日の日程変更は安全を第一に考えて苦渋の決断となりました。

離島式（8月6日）



7日目。予定より2日間も早い離島の日を迎えました。感謝の気持ちを込めて、お世話になった三根小学校を念入りに清掃しました。参加者全員が、心を込めて清掃する様子から八丈の方々に感謝する気持ちが自然と伝わってくるようでした。その後、底土港待合所で離島式を行いました。参加者代表が、精一杯の感謝の気持ちを込めて研修の感想と感謝の言葉を伝えました。離島式後、待合所の屋上で真っ青な空の下、最高の記念写真を撮りました。多くの方々の見送りをいただき乗船、出航しました。

最終班別ミーティング（8月6日）



船内での夕食を終え、いよいよ竹芝桟橋が近づきだした頃、最後の班別ミーティングを行いました。参加者は、自分の想いを精一杯の言葉にして伝えていました。そして、仲間やV L、指導者の想いを精一杯聞いていました。日数の長さによらず、31回目の海洋道中も、参加者を、そして指導者である大人たちをも大きく成長させてくれたことだと思います。

解団式（8月6日）



ほぼ予定どおり、竹芝棧橋に到着しました。そして最後の「解団式」を行いました。団長からは現地研修のまとめとなる話をしていただき、参加者代表からは、多くの方々への感謝の想いが伝えられました。また、VL代表からも参加者への想いとすべての方への感謝の気持ちが伝えられました。この7日間は、かけがえのない時間であったということあらためて感じながら、第31回「やまなし少年海洋道中」現地研修の最後をむかえました。

ありがとう、八丈島！（8月6日）



今年度31回目という新たな一歩を踏み出すことができた「やまなし少年海洋道中」現地研修は、参加者一人ひとりのとても大きな成長と成果を残し、一生忘れることのできない7日間となりました。八丈島では台風の影響で日程変更せざるを得ない状況となりました。そのときの八丈町教育委員会のみなさんの多大なる協力、さらには八丈島民の方々の温かく優しい言葉に何度も勇気づけられました。参加者や指導者が、より大きく成長することのできた八丈島に感謝しながら、今年度の「でっかい体験」は無事に幕を閉じました。